

標 題 : Mediterranean diet and metabolic syndrome prevalence in type 2 diabetes patients in Ahvaz, southwest of Iran
イラン南西部、アフワズの 2 型糖尿病患者における
地中海食事とのメタボリックシンドローム有病率

著 者 : M. Veissi, et al. (イラン アフワズ Jundishapur 医科大学
栄養・代謝疾患研究センター 健康研究所)

掲 載 誌 : Diabetes Metab. Syndr. 2016 Jan 16. [Epub ahead of print]
[印刷に先立つ電子出版 : 印刷版は同誌 2016 Apr-Jun;10(2 Suppl 1):S26-9]

要 旨 :

目 的 : メタボリックシンドロームは心臓血管系疾患の予測因子として、地中海食事に従うことで減少すると提案されている。

この研究は、2 型糖尿病患者でメタボリックシンドロームと地中海食事との間の関連を、探索することを目的とする。

資 料 : 横断研究を、28-75 歳(平均年齢 : 54.3±9.6 歳)の 2 型糖尿病患者 158 人で実施した。

空腹時のグルコースおよび脂質組成を測定した。

各参加者の血圧および身体計測の特徴を記録した。

地中海食事の順守を測定する 11 項目スコアを用いて、食品頻度アンケートを評価した。

結 果 : 全体で、参加者の 55.4%は地中海食事の順守が良かった。

メタボリックシンドロームのリスクは、女性で男性よりも有意に高かった(オッズ比 OR=8.65、95%CI=2.88-25.99、 $p<0.001$)。

ナッツ、豆類、および種子の摂取は、有意に低いメタボリックシンドロームのリスクと関連した(OR=0.42、95%CI=0.118-0.917、 $p<0.05$)。

メタボリックシンドロームと地中海食事の順守との間に、関連は認められなかった($p=0.167$)。

結 論 : 2 型糖尿病患者で、地中海食事の順守とメタボリックシンドロームとの間に関連がないと、結果が示した。

しかし、ナッツ、豆類、および種子は糖尿病患者に大きな効果があると思われる。

キーワード : 心臓血管系疾患、食事パターン、地中海食事、メタボリックシンドローム、2 型糖尿病
